

がんばってます Vol.44

医師事務作業補助者

日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。

第44回の今回は、このほど増員された医師事務作業補助者にスポットを当てました。

Q 医師事務作業補助者の仕事は、なんですか？



塚原主任

医師の事務的な業務をサポートするのが主な仕事です。診察室では医師の指示の下、検査の予約や所見内容・診察予約・入院予約などを電子カルテに入力したりします。

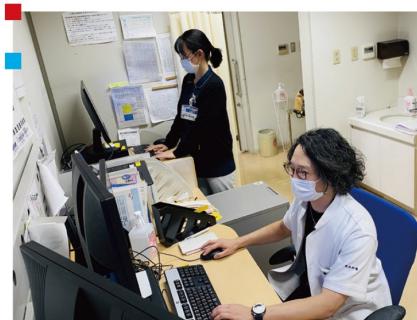
また、生命保険などの診断書や介護保険の意見書など書類の作成も行います。

Q 医師事務作業補助者がいるメリットは？



塚原主任

まず、医師が事務作業から解放され、医療に専念できるようになります。以前は、パソコン入力や書類作成などもすべて医師が行っていたので、医師の負担が増え時間もかかっていました。そうした作業を私たちが代行することで医師の労力も時間も軽減でき、医師の働き方改革にもつながります。また、これまで事務作業は看護師がサポートしていた部分も多いので、看護師も本来の業務に専念できます。そして何よりも診察がスムーズになり、患者さんの待ち時間短縮、医師との会話の時間の確保にもつながります。



今回の増員数は？また、院内配置は？



塚原主任

6名の増員で、医師事務作業補助者は26名になりました。外来に13名、病棟に6名、地域連携室と予約係に7名を配属しています。



医師の横で、医師の指示や所見を入力したり検査の予約を入れたりします。



診察時に、医師を事務的にサポートすることが仕事の基本です。

医師と看護師をつなぐのも、大切な業務のひとつです。